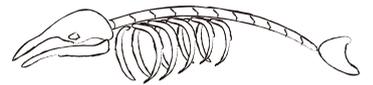


タンネウシ 5月号



必見！特別天然記念物！ イリオモテヤマネコの 常設展示はじまる！

交流記念館にイリオモテヤマネコのはく製と骨格標本の展示コーナーができました。姉妹町である竹富町西表島に約100頭しか生息していない絶滅危惧種の野生ネコです。2013年5月に交通事故で死亡した個体を環境省から提供いただいたものです。イリオモテヤマネコのはく製は、東京以北では国立科学博物館とここにしかありません！竹富の自然の豊かさを伝える貴重な標本をぜひご覧ください。



イリオモテヤマネコの展示に伴い、展示と観覧順路を一部変更しました。出入口が博物館（本館）入口となります。販売物のコーナーは本館玄関ホールになりました。

写真展 知床そして道東の脇役たち 5月31日（日）まで開催中！



今泉俊雄さん（釧路市在住）は2007年に知床を訪れて以来、頻繁に通い“脇役”たちの写真を撮影してきました。脇役ですがすてきな生き物たちの姿をご覧ください。

●会場：交流記念館ホール
※写真展のみの観覧は無料です。

協力会員の皆様には「世界遺産知床パンフレット」を同封しました。10周年に合わせて内容を全面改訂しました。

5月の休館日は11・18・25日の月曜日と、7日（木）です。連休中は開館しています。

国際博物館の日 5月17日（日）は無料開館します 9:00～17:00

国際博物館会議（ICOM）が博物館の役割を多くの人に知ってもらうために、「国際博物館の日」を決めています。知床博物館もこれに協賛して、5月17日（日）を無料開館とします。※国際博物館の日は5月18日ですが、この日は月曜日のため17日を無料開館日としました。



●協力会員ご本人はいつでも入館無料ですが、この日はお連れの方も無料になりますので、ぜひお誘い合わせの上、ご来館ください。

今年の博物館キッズ、決まりました！



昨年の様子

昨年からの新しい取り組み「博物館キッズ」。15名の子どもたちが、年間10回余りの講座に参加して知床の歴史や自然を集中的に学びます。今年のメニューは、「春のお花見ツアー」、「クジラに大接近」、「大昔探検隊」などなど。26人の応募があり、抽選の結果、3年生5人、4年生8人、5年生1人、中学生1人の15名の参加が決まりました。うち協力会員のお子さん2名は優先枠で参加いただきました。



新任職員の紹介

役場建設課から4月1日に博物館に着任した永田恭一です。どうぞよろしくお願いたします。

トピックス ●この春は流水の後退が早く、3月初旬に沖へ去った流水が戻ってこないまま、流水終日（3月8日、網走）を迎えました。一昨年から観測している流水の蟹気楼・幻氷（げんぴょう）は海明けの頃に見られますが、今年はハッキリしたものを確認できず寂しい春となりました（佐藤）